



管内幼児教育推進研修会



10月22日(火)に口丹波勤労者福祉会館にて、管内の幼稚園・保育所(園)・こども園長、行政担当者など43名の参加の中、管内幼児教育推進研修会を開催しました。

この研修会は、幼児教育の質の向上と子ども達の健やかな成長を願い、管内の幼児教育施設長が一堂に会し、交流・協議を通して研修を深めることで、幼児教育施設の連携の一層の推進を図ることを目的に行っています。

管内の児童・生徒の状況 育ちと学びをつなぐ

★参加者の感想より



★幼児教育が一丸となって目指す保育・教育ができたとき、学校への架け橋がしっかりしたものとなるのだと思いました。

実践発表「乳児保育と環境～子どもが主体的に過ごせる・遊べる環境を目指して～」

職員が一丸となり、乳児期から子どもたちの主体性を育む環境づくりに取り組んでこられた中部保育所の実践について発表していただきました。自分らしく過ごせるということは、子どもたち一人一人の人権を大切にすることだと学びました。

★日々の保育の積み重ねが大切であるし、その日々の中で何をするか、何を感じるか、どのように保育するか、職員とつながるかが大切だと思いました。

★環境の見直しは、気になっていても仕方ないか…とついつい後回しになってしまっていたので、実行にうつしたいと思います。

★実践発表を聞いて、改めて「子どもにとってどうか」の視点をもつことの大切さを実感いたしました。



亀岡市立中部保育所

新木本 朋子 所長

西田 有希 主任保育士

講演「働き方を探す旅は続く～こどもの世界が教えてくれる～」

幼児教育施設における「働き方改革」について、ご自身の実践を交えながらお話していただきました。こどもの世界から学び、「ねばならない」の固定概念から脱却することや、職員にとって働きがいのある職場づくりについて考えることができました。

★悩むことはたくさんあるけれど、大好きな保育を楽しみ、子どもの豊かな成長を見守れる職場であることの大切さを改めて感じました。

★自分の園をどうしていきたいか考える機会となり、とても参考になりました。かわいい子どもたちのために、大切な職員のために、一歩ずつ行動を起こしたいです。

★“こどもをまんやかにした保育”という言葉をあえて言わなくても、あたりまえになっていっているのではないかと、そうでなければならないと感じました。働き方改革については、保育の楽しさを園内で共有することが(気持ちを変革することが)一番はやい改革につながると思いました。自分の役割の重要性も痛感しました。



亀岡市こども未来部次長・

亀岡市立第六保育所所長

中井 佐栄子 先生

グループ交流・協議

★園に帰ったら、先生たちといっぱい話そうと思いました。

★自園でも悩んでいることがありますが、そのことについて解決できそうなヒントや実践できそうなことを、研修で伝えていただけたのが良かったです。

★グループ交流では、それぞれの園で悩むことが同じようなことで、同じ立場の先生たちと話せて、「うちもそうや」と思えただけで気持ちが軽くなり、勇気づけられました。



☆未来へつなぐ架け橋研修会を2月13日に開催予定です。円滑な幼小接続に向けて小学校の先生方と共に学びます。